

氏名	原 明子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	老年看護学、リハビリテーション看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2001 国立療養所東埼玉病院附属看護専門学校/2010 埼玉県立大学保健医療学部/2022 埼玉医科大学看護学研究科				
経歴	2024 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 助教				
所属学会（役職）	日本老年看護学会、NPO法人日本リハビリテーション看護学会（編集委員会指名委員）、日本脳神経看護学会（評議員・編集委員・査読者）、日本看護科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	高次脳機能障害となった子を持つ親の経験	共同	日本リハビリテーション看護学会第36回学術大会、Web開催		○ <u>原明子</u> 、栗生田友子	2024.11
2	看護業務のヒューマンエラーを未然に防ぐための小型ロボット共同開発と導入効果	共同	第44回日本看護科学学会学術集会、熊本		○善生まり子、真々田 美穂、高瀬 裕子、岩上 広子、松元 智恵子、阿部 真純、 <u>原明子</u>	2024.12
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	介護者なきあとの生活に対する高齢介護者の捉え - 高次脳機能障害者に焦点を当てて -	共著	埼玉県立大学奨励研究報告書		○ <u>原明子</u> 、丸山優	2025.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	2024年度埼玉県立大学奨励研究費	介護者なきあとの生活に対する高齢介護者の捉え - 高次脳機能障害者に焦点を当てて -		研究代表者	2024.7～2025.1	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	老年看護学Ⅰ(総論)		8	老年期を生きる高齢者の特徴について対面・遠隔での講義を担当した。対面・遠隔での学生・高校生対応を行った。		
2	認知症看護		8	学生が認知症に関する知識を深め看護が考えられるための講義やワークが円滑に行えるようサポートした		
3	老年看護学Ⅳ(地域とケアシステム)		8	実習での経験や事例を通して地域ケアシステムを活用した地域での生活について学生が主体的に考えられるようグループワークや発表会をサポートした。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ（援助技術）		15	高齢者のリハビリテーション看護に関する講義を担当した。レクリエーション・排泄・口腔ケア・移乗移動の演習やグループワークでは学生が主体的に実践できるようにサポートした
2	老年看護学Ⅲ（看護過程）		13	グループワーク・発表会が円滑に運営でき、事例の高齢者の全体像をアセスメントし、必要な看護課題の抽出ができるようサポートした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2024.4～2024.6	2か所の老人福祉センターで看護学科1年生24名を担当し、元気高齢者とのコミュニケーションを中心とした実習が行えるよう支援した。
2	総合実習		2024.4～2024.7	回復期リハビリテーション病棟で看護学科4年生5名を担当した。学生が患者の強みを活かした看護実践や看護展開を学生が主体的に思考・実践できるよう支援した。
3	老年看護学実習Ⅱ		2024.10～2024.12	回復期リハビリテーション病棟で看護学科3年生を合計21名担当し、患者の強みを活かした看護実践や看護展開を学生が主体的に思考・実践できるよう支援した。特別養護老人ホームに学生21名を引率した。
4	IPW実習		2024.8～2024.10	科目責任者会の一員としてオリエンテーションや報告会の運営、また地域担当教員として4施設5チームを担当した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	副指導4名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ講座	老年看護学領域	卒業生交流会（老年看護学領域）卒業生と看護学科4年生の希望者にキャリアデザインについて発表した。	2024.10
2	チームビルディング	社会法人誠会	チームビルディングの研修講義・演習	2024.12
3	チームビルディング	社会法人誠会	チームビルディングの研修講義・演習	2025.1
4	専門職連携教育研修	浜松市立看護専門学校	専門職連携教育、ファシリテータおよびファシリテーションスキルについて	2025.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	NPO法人日本リハビリテーション看護学会	編集委員会指名委員		2024.4～2025.3
2	日本脳神経看護学会	編集委員・査読者		2024.4～2025.3
3	日本脳神経看護学会	評議員		2024.6～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会	2024.4～2025.3
2	学科等における委員会等	IPW実習科目責任者会	2024.4～2025.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス（実習室見学）	2024.8
4	学科等における委員会等	学科会議書記	2024.5
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	最優秀発表賞	日本リハビリテーション看護学会	2024.12
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		